



# あいにしや 県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 津波九十九里有料道路かさ上げ 対策

### 7.5キロ、28年度完成へ

「創ろう、拓こう、新世紀山武」をスローガンに、阿井伸也県議(4期目)は、ふるさと山武の発展に全力を上げています。2月定例会県議会では一般質問に立ち、県政が当面する課題について、県執行部に施策を質しました。津波対策として、九十九里有料道路の一部区間がかさ上げされることになりましたが、以前から当局にかさ上げを要望してきた阿井県議は改めて、整備のスケジュールなどを担当者に確認しました。このほか、トップセールスについて知事に成果などを聞きました。阿井県議の質疑と県当局の答弁を要約して特集します。

### 2月県議会一般質問



登壇し、一般質問を行う阿井伸也県議

阿井議員 昭和47年に開通した「九十九里有料道路」は観光客から「波乗り道路」として親しまれ、観光客は千葉東金有料道路から東金九十九里有料道路を利用し、短時間でしかも安全快適に、九十九里浜を訪れることができるようになり、観光地として九十九里浜のポテンシャルは格段に

上がった。さらに、その存在が再認識されたのが、3年前の東日本大震災の時だった。本県においても銚子市からいすみ市まで太平洋沿岸を津波が襲ったが、幸いにも九十九里町片貝漁港以南の九十九里町・大網白里町(当時)・白子町・一宮町では津波による浸水被害はあっ

たものの、直接的な浸水被害、大きな人的被害はなかった。

震災後の有識者の調査では、「九十九里有料道路」の減災効果があったとのこと。盛り土構造の波乗り道路が津波から九十九里浜沿岸の住民や家屋を守った。

だからこそ、津波対策として九十九里有料道路のかさ上げ工事を当局に訴えてきたが、今回の東日本大震災に関わる国の交付金により財政支援が復興事業として認められ、事業化され九十九里有料道路17・2キロメートル区間のうち、約7・5キロメートル区間において、九十九里有料道路を活用した津波対策のかさ上げ事業が行われることになった。

そこでどうかうかがうが、対象区間を約7・5キロメートルとした理由は何か。また、今後、どのようなスケジュールで整備をしていくのか。県土整備部長 県では、九十九里沿岸60キロメートルのうち、津波対策が必要

な29キロメートルについて、海岸堤防や保安林の砂丘のかさ上げなどを実施しています。

このうち、7・5キロメートルの区間については、有料道路が海に近接しているため、海水浴場の利用や砂浜保全等の観点から、道路をかさ上げすることとし、現在、道路公社と連携し、工事着手に向けた設計を行っているところでありま

す。今後、関係市町との調整を進め、繁忙期を除き平成

### 大網白里特別支援学校

### 来春開校へ準備

阿井議員 (仮称)大網白里特別支援学校の開校に向けて、今後、どのようなスケジュールで準備を進めていくのか。

教育長 県教育委員会では、平成27年4月の開校に向けて準備を進めており、本年4月には開設準備室を設置し、目指す学校の検討や教育課程の編成などを行っていく予定です。

施設設備の整備に関しましては、平成25年度2月補正予算案に改修工事を、また、平成26年度当初予算案に備品等の費用を、合わせて約13億円

26年度から2か年をかけて、事業の完成を目指してまいりますと考えています。

阿井議員 現在、住民や経済活動のために設けている通路についてどのように考えているのか。県土整備部長 有料道路の下に設置されている通路については、津波の際に浸水口になる恐れがあるため、今後、地元での利用実態や周辺の地形などを考慮し、防護のための方法について検討してまいります。

計上させていただいています。

阿井議員 (仮称)大網白里特別支援学校における新たな特色は何か。教育長 (仮称)大網白里特別支援学校におきましては、外房地域で初めて高等部に職業コースを設置し、軽度の知的障害のある生徒の職業的な自立を目指してまいります。

### あいにしや県議 PROFILE

- 昭和39年3月27日生まれ
- 大網小、大網中、長生高卒
- 法政大学法学部政治学科卒
- 国会議員公設秘書
- 平成23年4月千葉県議会議員選挙で4期目の当選
- 県議会 議会運営委員会委員長
- 県議会 総合企画水道常任委員会委員
- ちば自民党副幹事長

県政や山武地域についてのご要望、ご意見をお寄せ下さい

## あいにしや事務所

〒299-3251 大網白里市大網155  
TEL0475(73)0800  
FAX0475(73)1465

# 農産物受注などで成果

## 知事トップセールス



マレーシアへの知事トップセールスに同行、挨拶をする阿井伸也県議

うことにより、千葉県ミッ

シオン団、県議会議員団の皆様とともに、戦略的にプロモーションを展開することができたと考えています。

そのような取組が多くなると成果に繋がったものと考えており、これを一過性のものとするのではなく、今後も継続してフォローアップしていくことが重要であると感

また、台湾、タイ王国においては、トップセールスを実施した後、観光ミッシオン団の派遣、商談会の開催現地メディアや旅行社等の招聘、県産品の試験輸出などのフォローアップ事業を実施しているところで、その結果、昨年の夏季シ

阿井議員 海外における森田知事のトップセールスは、台湾に始まり、タイ、そして今回のマレーシアと、3回目になり、その目的や内容も変化し、同行するミッシオン団も増えている。

平成23年12月県議会のおり、私の台湾・シンガポール訪問の目的と成果についての質問に対し、知事は「千葉県の知名度は低い。これからも地道に積極的にやっつけていく」と答弁した。海外における森田知事のトップセールスも3カ国目となり、その後のフォローアップ(復習)も含め、その効果と成果はどうか。今回のマレー

シアにおけるトップセールスの成果と率直な感想はどうか。

知事 成果としては、現地旅行業者、食品バイヤーと千葉県ミッシオン団との大規模な商談会を開催し、早速、イチゴやメロンの受注に繋がったことや、イオンマレーシアと梨の輸出について合意したこと、また、ナズリ観光文化大臣と青少年交流事業の実施や、本県とクアランプールにおけるフェアの相互開催への協力について合意したことなどが挙げられます。

今回のトップセールスでは、事前に十分な準備を行

### 県産農林水産物輸出

### 5割増、170億円目標

今後5年間で

阿井議員 知事のトップセールスをはじめ、これまでの海外プロモーションにおける県産農林水産物の輸出における成果はどうか。

農林水産部長 県では、これまでタイ王国やマレーシアにおいて、県産品の試食販売を含めた千葉県フェアや、輸出を目指す生産者と

現地バイヤーの商談会の開催など、知事を先頭にしながら海外プロモーションを行ってきたところで、その結果、知事のトップセールスにより、県産農林水産物の知名度が向上するとともに、千葉県フェアの開催などを通じて、現地の市場動向の把握や、梨やさつ

まいもなどの新たな販路開拓をすることができました。阿井議員 県産農林水産物の輸出額の目標をどの様

## 本県への外国人誘客 目標を大きく下回る



議場の自席で再質問をする阿井伸也県議

1ズン3カ月の千葉県への外国人旅行者の延べ宿泊者数は、台湾で対前年比2.3倍、タイ王国で1.6倍となつたほか、台湾からの教育旅行も、昨年度の1校から

今年度は9校と大幅な増加となりました。また、タイ王国から昨年度の3.5倍となる「千葉の梨の注文をいただくなど着実な成果ができています。」

**要望** 阿井議員 海外に向けたトップセールスや誘客・農林水産物の輸出促進等については、今後、首都圏や関東圏で連携し取り組んでほしい。

## 東日本大震災が影響

阿井議員 海外からの誘客についてうかがう。外国人来訪者の本県への誘客目標は、平成24年に200

万人であったが、推計値はどうであったのか。また、国際会議等の本県での開催件数は5割増加したのか。

商工労働部長 平成24年の数値は外国人来訪者数約82万人、国際会議等の開催件数194件と、ともに現観光基本計画で掲げた目標値を大幅に下回る状況となっております。平成22

産物・食品の輸出額を、今後10年間程度で倍増させ、1兆円規模に拡大することを目標としています。

県では、昨年12月に策定した農林水産業振興計画において、国の方針や近年の本県の伸び率をベースに、今後重点的に取り組む品目及び対象国を設定するなどして、平成24年に115億円の県産農林水産物の輸出額を、今後5年間で約5割増の170億円に拡大することを目標としたところで

に設定するのか。農林水産部長 国の輸出戦略においては、平成24年に約4500億円の農林水

年までは順調に増加傾向にありましたが、東日本大震災により両方とも数値が大きく下回り、さらに昨今の日韓、日中関係の悪化など国際関係も影響したと考えております。

阿井議員 これまでの海外に向けての誘客活動のフォローと成果はどうか。

商工労働部長 東日本大震災の影響などによりまして、訪日外国人旅客者が大きく減少する中、平成23年度からは、富裕層が増加しております親親的な東南アジアに重点を置いてトップセールスを行っています。

また、トップセールス後も、現地の旅行業者との商談会の開催や、台湾・タイ王国からの大学生モニターツアーの実施、教育関係者・メディアの招請などフォローアップに努めており、海外からの教育旅行の増加等の成果もあがっております。

阿井議員 リピート率を高めるために、今後「おもてなし」をどのように演出するのか。

商工労働部長 県ではこれまで、県内を安心して快適に周遊できる体制を整備してまいりました。今後は、さらに、観光案内板の多言語化、外国語ボランティアガイドの養成や東京デイズニールゾートの優れた「おもてなし」のノウハウの活用など、何度でも訪れたいくなる観光地づくりを進めていくこととしております。